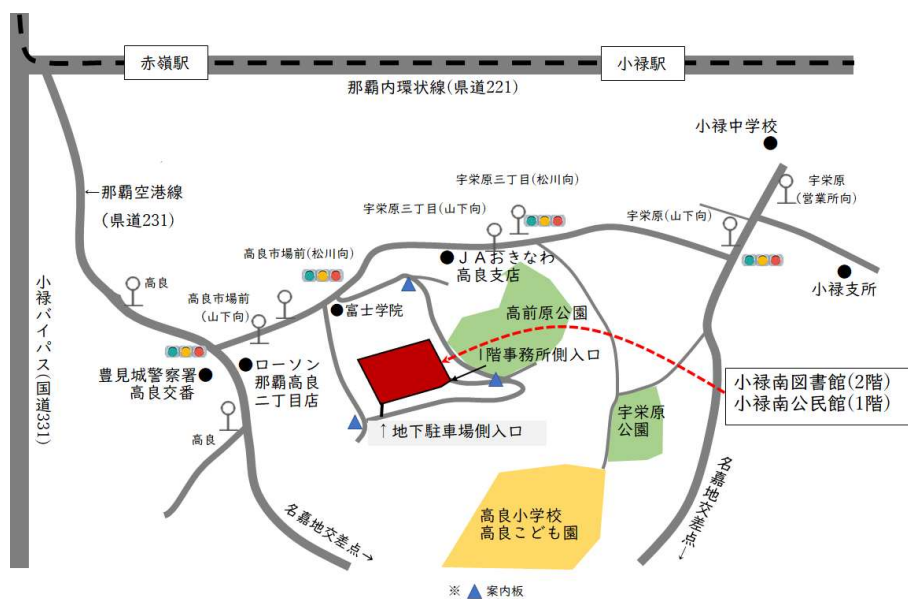


小 祿 南 公 民 館



〒901-0145 那覇市高良 2-7-1

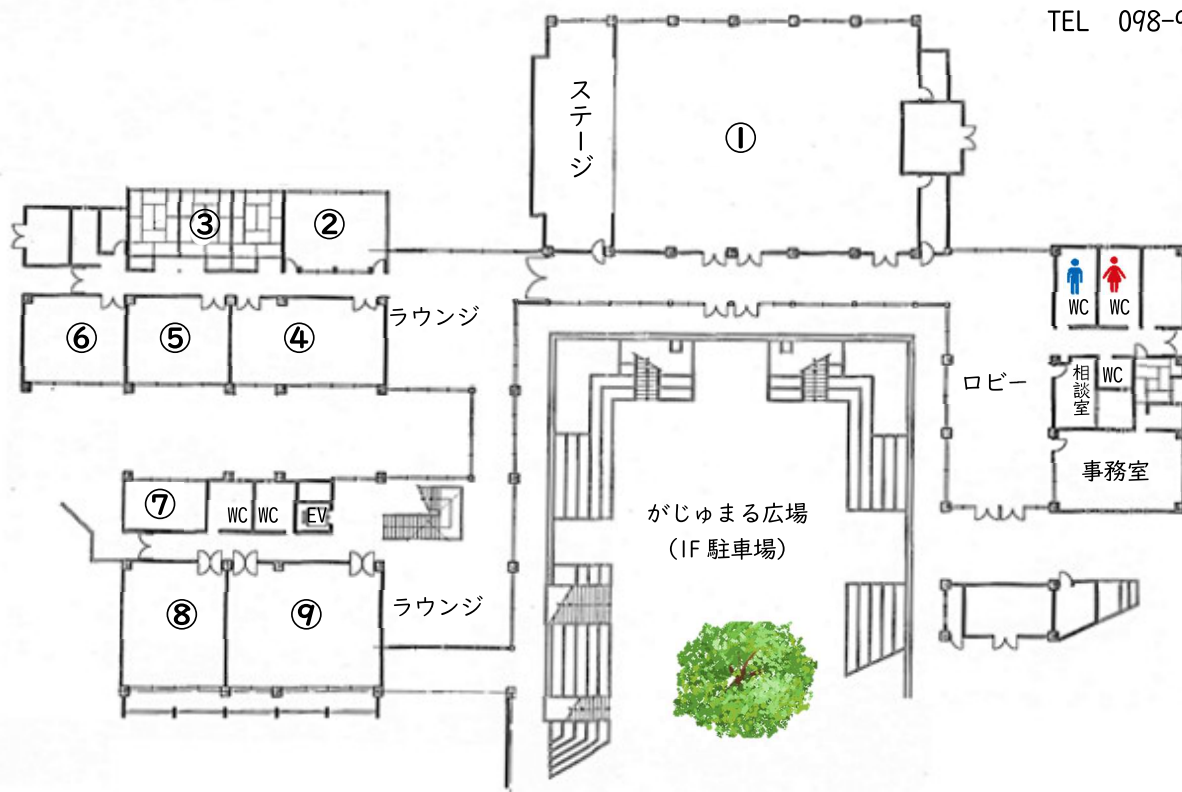
TEL 917-3444 FAX 858-0220

利用施設のご案内

〒901-0145 那覇市高良 2-7-1 1階

小禄南公民館

TEL 098-917-3444



部屋名	利用可能人数	会議用テーブル等の配置	用途及び備品
① ホール	300 人程度	最大 32 台 (8 台×4 列スクール配置)	講演会等 (ステージ・グランドピアノ・会議用テーブル・椅子)
② 児童図書室	12 人程度	最大 6 台 (スクール配置・ロの字配置)	集会・学習会等 (会議用テーブル・椅子等)
③ 和室 ※10 畳 3 間	30 人程度	最大 12 台 (会議用座卓テーブル)	集会・学習会等 (会議用テーブル・椅子等)
④ 中研修室	30 人程度	最大 12 台 (6 台×2 列スクール配置)	集会・学習会等 (会議用テーブル・椅子等)
⑤ 小会議室 A	16 人程度	最大 8 台 (スクール配置・ロの字配置)	集会・学習会等 (会議用テーブル・椅子等)
⑥ 小会議室 B	16 人程度	最大 8 台 (スクール配置・ロの字配置)	集会・学習会等 (会議用テーブル・椅子等)
⑦ 団体連絡室	8 人程度	最大 4 台 (スクール配置・ロの字配置)	集会・学習会等 (会議用テーブル・椅子等)
⑧ 実習室	30 人程度	調理台 (講師用 1 台+6 台) ※各台コンロ 2 口	調理実習 (調理台・椅子・冷蔵庫・調理器具・食器)
⑨ 視聴覚室	40 人程度	最大 15 台 (5 台×3 列スクール配置)	学習会・映写会等 (会議用テーブル・椅子等)
ロビー・ラウンジ			

I 小禄南公民館の沿革

建設の設計については、一般公募（競技設計）方式を採用し、昭和56年9月24日建設に着工、昭和57年3月31日に竣工した。

同施設は、旧小禄支所跡の丘陵地帯で小禄地区の南に位置し、その規模、設備等は当時最も進んだ近代的な公民館として、昭和57年5月14日開館した。

1982（昭和57）年4月1日	小禄南公民館の発足に伴い、主査 兼城賢真が発令された。
5月13日	小禄南公民館の開館式が行われた。
1986（昭和61）年4月1日	主事が公民館主事に職名変更された。
1989（平成元）年4月1日	主査 兼城賢真が配置替えにより、主査 伊元源治が発令された。
1990（平成2）年4月1日	主査が館長に職名変更された。
12月7日	第20回沖縄県公民館研究大会において優良公民館として表彰された。
1991（平成3）年4月1日	館長 伊元源治が配置替えにより、館長 前原信喜が発令された。
1992（平成4）年2月14日	第39回沖縄県生涯学習振興大会において優良公民館として表彰された。
1993（平成5）年2月28日	開館10周年記念式典及び祝賀会・記念誌が発刊された。
1994（平成6）年11月1日	第47回優良公民館として文部大臣表彰を受ける。
1995（平成7）年10月1日	館長 前原信喜が配置替えにより、館長 中村英雄が発令された。
1996（平成8）年4月1日	公民館主事1減に伴い社会教育指導員1増
1998（平成10）年4月1日	館長 中村英雄が配置替えにより、館長 新里重雄が発令された。
2001（平成13）年4月1日	館長 新里重雄が配置替えにより、館長 阿波連寛が発令された。
2004（平成16）年4月1日	館長 阿波連寛退職により、館長 新里重雄が発令された。
2005（平成17）年4月1日	館長 新里重雄退職により、館長 新垣絹代が発令された。
	社会教育指導員1減
2007（平成19）年2月15日	那覇市小禄南公民館は沖縄県豊見城警察署長より感謝状を表彰された。
2007（平成19）年6月20日	うるく地域づくり連絡協議会（事務局小禄南公民館）創立十周年記念誌が発行された。
2007（平成19）年11月22日	第37回沖縄県公民館研究大会において館長新垣絹代が功労者表彰を受ける。
2008（平成20）年4月1日	館長 新垣絹代が配置替えにより、館長 比嘉勉が発令された。
2009（平成21）年4月1日	館長 比嘉勉が配置替えにより、館長 上原善英が発令された。
2012（平成24）年3月	「小禄の拝所」が発行された。
2012（平成24）年4月1日	館長 上原善英が配置替えにより、館長 島袋元治が発令された。
2014（平成26）年4月1日	館長 島袋元治が配置替えにより、館長 比嘉康裕が発令された。
2016（平成28）年4月1日	館長 比嘉康裕が配置替えにより、館長 上原昭則が発令された。
2017（平成29）年3月1日	第69回優良公民館として文部科学大臣表彰を受ける。
2018（平成30）年4月1日	館長 上原昭則が配置替えにより、館長 天久尊哉が発令された。
2019（平成31）年4月1日	館長 天久尊哉が配置替えにより、館長 上江田久美子が発令された。
2021（令和3）年4月1日	館長 上江田久美子が配置替えにより、館長 高良篤伸が発令された。
2023（令和5）年4月1日	館長 高良篤伸が配置替えにより、館長 小渡美奈が発令された。
2025（令和7）年3月	小禄南公民館・図書館外壁補修工事終了

Ⅱ 令和6年度小禄南公民館事業目次

1 学習風景（写真）	35
2 成人一般対象事業	
〔1〕 市民講座	
◇旧暦7月、8月の行事 ― シチグッチ（盆）を中心に ―	36
〔2〕 成人講座	
◇つながる琉球史―小禄と王家の繁栄―	37
3 高齢者対象事業	
〔1〕 高齢者学級	
◇シニアスマホ講座（入門編）	38
◇シニアスマホ講座（基本編）	39
◇シニアスマホ講座（アンドロイド編）	40
◇シニアのためのチャレンジ講座	41
4 青少年対象事業	
〔1〕 少年教室	
◇夏休み宿泊学習（星空観察・野外炊飯・玉城青少年の家探索）	42
〔2〕 青年講座	
◇Discoダンス&コンディショニングでリフレッシュ！	43
〔3〕 親子ふれあい教室	
◇親子で体験！「夏休みSDGsわくわく教室♪」	44
5 家庭教育事業	
〔1〕 乳幼児学級	
◇ゆらゆらゆったり～わらべうた遊び～（全3回）	45
6 その他の事業	
〔1〕 地域連携事業	
◇「かぎやで風」を弾こう♪ 三線講座（全2回）初心者向け	46
◇語やびらLet's防災！	47
〔2〕 うるく地域づくり連絡協議会	
◇地域学習会「トートーメー継承 ～過去・現在・未来～」	48
◇親睦グラウンドゴルフ大会	49
◇第29回小禄地区市民大運動会	50
◇第29回うるく村あしび	51
7 公民館まつり（開催なし）	
※外壁改修工事で駐車場の使用制限があり十分な練習ができないため	

1 学習風景



高齢者学級「シニアのためのチャレンジ講座」



少年教室「夏休み宿泊学習」



地域連携事業

「『かぎやで風』を弾こう ♪三線講座」



乳幼児学級

「ゆらゆらゆったり～わらべうた遊び～」



親子ふれあい教室

「親子で体験！夏休み SDGs わくわく教室♪」



青年講座 「Disco ダンス&コンディショニングでリフレッシュ」

2 成人一般対象事業

〔1〕市民講座

講座名 タイトル		旧暦7月、8月の行事 ―シチグッチ（盆）を中心に―								
事業概要		沖縄県公文書館によると、琉球政府が1961年に定めた「住民の祝祭日に関する立法」において、旧暦の7月15日は「お盆の日」として休日に定められていた。本講座では、旧暦7月の「タナバタ」「お盆」から旧暦8月の「ジュグヤー」「ヤシチヌウグワン」まで、沖縄の年中行事としきたりを専門家による豊富な調査事例をもとにしたわかりやすい解説で、学ぶ機会を提供する。								
現状・課題		◎仏壇行事を残すべきとの意見は若者に多く、20代で約7割、30代で6割。伝統文化の継続を重視していることが明らかになった。（沖縄タイムス社2021年調べ） ◎仏壇行事を負担に感じる割合は全体で43.4%だが、40代と50代で特に高く、女性では48.6%に達し、男性よりも負担感が強い現状がある。（沖縄タイムス社2021年調べ）								
事業目的 めざす姿		1. 旧暦7月・8月の行事を時系列で学び、それぞれの行事の歴史と意義を理解する。 2. 旧盆のお供え物の種類、設置方法、儀礼的意味、先祖への畏敬について学ぶ事。 3. 専門家の多彩な調査事例に基づく具体的な知見を学ぶ事。								
対 象		那覇市在住・在勤・在学の人								
募集人数等		定員 50人 申込 52人 参加延べ 43人 【申込率104%・参加率86%】								
日時 場所	回	期日	開始	～	終了	実施(集合)場所	参加人数	男性	女性	オンライン
	01	7月27日(土)	10:00	～	13:00	小禄南公民館ホール	43	8	35	0
内容	01	◎旧暦7月の「タナバタ」「シチグッチ」 ◎旧暦8月の「ジュグヤー」「ヤシチヌウグワン」								
講 師		稲福 政斉（沖縄県文化財保護審議会専門委員）								
【講座の様子・感想】 ◎シチグアチや七夕、屋敷のウグアンの意味や作業手順について、今まできちんと学んだことがなかったので、今回の講座は非常に有益でした。これからの実践に役立てたいと思います。（60代・男性） ◎これまであやふやだったことや間違った認識が、今回の講座でクリアになりました。（40代・女性） ◎年齢別：30代2人、40代3人、50代4人、60代20人、70代11人、80代3人 ◎アンケート結果（満足度）85.4%										
【成果】 ◎多くの参加者から「シチグアチの歴史と由来、また供物や料理の作業手順等、きちんと学んだことがなかったので、参考になりました。」という声が寄せられた。 ◎本講座は、専門家が研究事例の映像を通して、旧盆のお供え物の種類、設置方法、儀礼的意味等を解説した。受講生は、沖縄の年中行事における「先祖への畏敬」の重要性や実践方法を視覚的に理解する手法でした。										







2 成人一般対象事業

〔2〕成人講座

講座名 タイトル		つながる琉球史～小禄と王家の繁栄～								
事業概要		本県は亜熱帯海洋性気候のもと、豊かな自然と特色ある歴史や文化が育まれてきた背景があり、先人たちが作り上げてきた沖縄の歴史と文化への理解を深め、故郷への誇りや愛着を感じられる地域社会の形成に取り組むとともに、新たな歴史と文化を創造していくものとして11月1日を「琉球歴史文化の日」と制定されている。今年是小禄村合併70周年の記念に併せ、那覇の歴史は小禄から始まったとして、小禄と王家の繁栄の謎を今も残る身近な事から紐解き、琉球歴史文化研究家の賀数仁然氏の軽妙な語りを通して、誇りが持てるような「現代に繋がる琉球史」を楽しく学ぶ。								
現状・課題		・琉球王国の繁栄に伴う琉球の歴史や偉人の功績を分かりやすく知りたい等、琉球の歴史文化を学ぶ機会を要望する市民の声が多い。 ・琉球の歴史や伝統文化の継承・発展及び豊かな感性を育む人材の育成や文化の振興を目的として「文化が保存され継承される街づくり」に一層の充実・発展を図る必要がある。								
事業目的 めざす姿		現代に繋がる琉球の歴史・文化や偉人を楽しく学ぶことにより精神的基盤のとしての郷土に誇りを持ち、同時に広く地域に興味を持つことで積極的な地域及び社会参加を促し「文化が保存され継承される街づくり」に寄与することを一人一人が意識し、伝統文化の継承・発展と豊かな感性を育む文化の振興を目的とする。								
対 象		那覇市在住・在勤・在学の人								
募集人数等		定員 60人 申込 80人 参加延べ 50人 【申込率133%・参加率83%】								
日時 場所	回	期日	開始	～	終了	実施(集合)場所	参加人数	男性	女性	オンライン
	01	10月20日(日)	10:00	～	12:00	小禄南公民館ホール	50	19	31	0
内容	01	・小禄と琉球王国及び本土の歴史展開 ・那覇の歴史の始まりは小禄（日本最古の人骨、縄文時代の集落跡） ・小禄の偉人と産業（畑作、織物生産、養豚、小禄紺地） ・小禄の偉人と産業（儀間真常の功績）								
講 師	賀数 仁然（琉球歴史文化研究家）									
【講座の様子・感想】										
・山下洞穴人から現代に至る小禄の歴史的役割や、ピンチをチャンスに変えた「儀間真常」が凄い人物だと知ることができて有意義な学びだった。 ・那覇が開港し外国との交易で琉球王国の発展があり小禄がその沖縄の近代化に深く関わっていることが、講師の現代感覚にあった内容の話し方で引き込まれ理解しやすかった。 ・アンケート結果（満足度）93% 										
【成果】										
・「小禄地域が歴史の中心であったことを初めて知った」という意見や「うちなーんちゅであることを誇りに思った」という意見に見られるように、本講座の目的である「琉球の歴史・文化や偉人を楽しく学ぶことで郷土に誇りを持ち、地域に興味を持つことで地域や社会参加を促し文化が継承される街づくりに寄与することを目的とする」に効果があつた。 ※台風13号の影響により1か月後に順延となったため、当初の申込み数より参加率が減となった。 										



3 高齢者対象事業

〔1〕高齢者学級

講座名 タイトル		シニアスマホ講座（入門編）								
事業概要		スマホのスペシャリスト「スマホアドバイザー」が提供する「シニアスマホ講座」入門編は、初めてスマホに触れる受講生向けの学習プログラムである。講座では、単に操作方法を学ぶだけでなく、楽しさと利便性を実感できる内容となっている。また、スマホを日常生活で活用する方法や便利なアプリの紹介に加え、写真の撮影や動画視聴、メッセージの送信など、実践的な体験を通じて学べる機会を提供する。								
現状・課題		◎基本操作の習得不足：スマートフォンの基本的な操作方法がわからない高齢者が多い。 ◎生活・趣味アプリの活用：高齢者が便利で楽しいアプリを知らなかったり、使いこなせない。 ◎コミュニケーションの困難さ：LINEやテレビ電話等のコミュニケーションツールの活用が困難。								
事業目的 めざす姿		◎基本操作の体験：スマートフォンの基本操作や、日常生活で活用する方法を体験する。 ◎生活・趣味アプリの体験：便利なアプリの使い方を体験し、実生活や趣味に活用するための方法を体験する。 ◎情報アクセスの拡大：デジタル端末を利用して、コミュニケーション手段を簡単に利用する方法を体験をする。								
対 象		那覇市在住・在勤・在学の60歳以上の人								
募集人数等		定員 20人 申込 37人 参加延べ 19人 【申込率185%・参加率95%】								
日時 場所	回	期日	開始	～	終了	実施(集合)場所	参加人数	男性	女性	オンライン
	01	6月20日(木)	10:00	～	12:00	小祿南公民館視聴覚室	19	5	14	0
内容	01	入門編：初めてスマホに触れる人向け スマホの「楽しさ」「便利さ」を体験 LINEで連絡してみよう！ インターネットで調べてみよう！ ※スマホは貸出機を使用								
講 師		ソフトバンク株式会社 スマホアドバイザー								
【講座の様子・感想】 ◎80代の受講生は、初めて触るスマホを楽しそうに操作していた。 ◎今まで、スマホには一度も触れたことがなかった。講座は、わかりやすく理解できた。(70代・女性) ◎親切丁寧に教えていただき分かりやすかった。特に音声アシストの活用術はとてもよかった。(70代・男性) ◎年齢別：60代が5人、70代が10人、80代が4人でした。 ◎アンケート結果（満足度）94.1%										
【成果】 ◎今回の初めてスマホに触れる人向けの講座では、受講生はスマホでの電話のかけ方や着信の取り方など、日常生活でのスマホ活用法を体験した。 ◎受講生は講座終了後、携帯電話会社の個人指導教室への参加を希望した。これにより、デジタルデバイドの解消が進み、高齢者の行動変容が期待される。										





3 高齢者対象事業

〔1〕 高齢者学級

講座名 タイトル		シニアスマホ講座（基本編）								
事業概要		スマホのスペシャリスト「スマホアドバイザー」が教える「シニアスマホ講座」基本編は、スマホデビューから、さらに一步進むための学習プログラムである。本講座は、スマホを購入した高齢者の「LINEを使いたい」「スマホをもっと便利に使いたい」などのニーズに応え、実践的な体験を通じて学べる機会を提供する。								
現状・課題		◎基本操作の習得不足：スマートフォンの基本的な操作方法がわからない高齢者が多い。 ◎情報ツールを活用していない：高齢者の多くは、電話やメール程度しか携帯電話を使っていない。								
事業目的 めざす姿		◎基本操作の習得：スマートフォンの基本操作や、日常生活で活用する方法を学習すること。 ◎情報ツールの活用：GoogleやGoogleレンズ、QRコードの使い方を学習し、活用すること。								
対 象		那覇市在住・在勤・在学の60歳以上の人								
募集人数等		定員 20人 申込 42人 参加延べ 15人 【申込率210%・参加率75%】								
日時 場所	回	期日	開始	～	終了	実施(集合)場所	参加人数	男性	女性	オンライン
	01	6月27日(木)	10:00	～	12:00	小祿南公民館視聴覚室	15	3	12	0
内容	01	基本編：スマホデビューから もう一步 動画を楽しもう・YouTube インターネットとカメラで調べてみよう！・Googleレンズ・QRコード ※スマホは貸出機を使用								
講 師	ソフトバンク株式会社 スマホアドバイザー									
【講座の様子・感想】 ◎スマホの本を購入したが理解できず、直接講師から学ぶスマホ講座を受講しました。とても分かりやすく、理解が深まりました。（60代・女性） ◎スマホ講座に参加し、自分の命に関わる緊急時に役立つことが分かり、大変有益だと感じました。スマホに強い興味を持ち、もっと勉強したいと思いました。（60代・女性） ◎年齢別：60代が5人、70代が6人、80代が4人でした。 ◎アンケート結果（満足度）100%										
【成果】 ◎受講生は60代から80代と幅広く、学習ニーズも様々でしたが、講師と5人の助手が参加していたため、誰一人取り残さず個別の質問に対応できました。 ◎受講生は講座終了後、携帯電話会社の個人指導教室への参加を希望した。これにより、デジタルデバイドの解消が進み、高齢者の行動変容が期待される。										







3 高齢者対象事業

〔1〕高齢者学級

講座名 タイトル		シニアスマホ講座（アンドロイド編）								
事業概要		本市では、第9次なは高齢者プランの中で「高齢者がいきいきと、支えあいのある地域の中で、安心して暮らせるまち」を基本理念として明記した。今回の「シニアスマホ講座」では、高齢者が生きがいづくりのための「生活・趣味アプリ」の体験や、仲間作りのためのLINE・テレビ電話等の「ゆんたくアプリ」に重点を置いて、高齢者がデジタルデバイドを解消するための学習機会を提供する。								
現状・課題		◎基本操作の習得不足:スマホの基本的な操作方法がわからない高齢者が多い。 ◎生活・趣味アプリを活用していない:高齢者が便利で楽しいアプリを知らなかったり、使いこなせない。 ◎情報ツールを活用していない:高齢者の多くは、電話やメール程度しか携帯電話を使っていない。								
事業目的 めざす姿		◎基本操作の習得:スマホの基本操作や、日常生活で活用する方法を学習すること。 ◎生活・趣味アプリの活用促進:便利なアプリの使い方を学び、実生活や趣味に役立てること。 ◎コミュニケーションツールの活用:LINE等のコミュニケーション手段を簡単に利用する知識を身につけること。 ◎情報ツールの活用:GoogleやGoogleレンズ、QRコードの使い方を学習し、活用すること。								
対 象		那覇市在住・在勤・在学の60歳以上の人								
募集人数等		定員 20人 申込 29人 参加延べ 48人 【申込率145%・参加率80%】								
日時 場所	回	期日	開始	～	終了	実施(集合)場所	参加人数	男性	女性	オンライン
	01	9月24日(火)	13:30	～	16:00	小祿南公民館 視聴覚室	17	6	11	0
	02	9月26日(木)	13:30	～	16:00		16	5	11	0
	03	9月27日(金)	13:30	～	16:00		15	5	10	0
内 容	01	生活・趣味に役立つアプリ体験・那覇市の電子図書館								
	02	LINE・ビデオ通話でトーク・グループ作成								
	03	文字入力・電話・Googleマップ・アプリの活用								
	-	※スマホは貸出機あり								
講 師		房前 三男（那覇市シルバー人材センター）他3名								
【講座の様子・感想】 ◎講師の先生やアシスタント3名の方から、手取り足取りの指導は最高。疑問だらけですが、恐れずトライをモットーに頑張ります。（70代・男性） ◎初心者なのですが、授業の進行が速かった。知らないことをたくさん教えてもらった。（80代） ◎年齢別：60代が7人、70代が10人、80代が4人でした。 ◎アンケート結果（満足度）78.5%										
【成果】 ◎受講生は、LINEやGmail、ビデオ通話等の連絡手段の利用方法を習得した。その結果、家族や友人とのコミュニケーションが容易になった。 ◎受講生は、GoogleやGoogleレンズ、GoogleMap等の情報収集手段の利用方法を習得した。その結果、外出しやすさが容易になった。 ◎受講生は、アプリの追加や削除方法、管理の仕方を習得した。その結果、情報収集の手段を効果的に活用できるようになった。 ◎高齢者がデジタル技術を自信を持って利用することが期待できる。										







3 高齢者対象事業

〔1〕高齢者学級

講座名 タイトル		シニアのためのチャレンジ講座								
事業概要		本講座では、高齢者が新たな発見に取り組む学びの場を提供する。また、公民館活動をしている人を講師に招き、サークル活動の紹介と参加を促すための機会を提供する。								
現状・課題		◎内閣府（令和5年版高齢社会白書）によると令和4年の高齢化率は29% ◎コロナ禍以降「人とのつながりが減った」と答えた高齢者が60% ◎「社会活動に参加していない」と答えた高齢者が29% ◎小祿南公民館の課題として、サークル数の減少、利用者の減少								
事業目的 めざす姿		「高齢者が生きがいを持ち、健やかに暮らせる」ことを目的とする。 ◎生きがいづくりのための学習機会の提供 ◎公民館のサークル活動への参加を促進する								
対 象		那覇市在住・在勤・在学の60歳以上の人 医師から運動制限を受けていない人								
募集人数等		定員 15人 申込 25人 参加延べ 50人 【申込率167%・参加率83%】								
日時 場所	回	期日	開始	～	終了	実施(集合)場所	参加人数	男性	女性	オンライン
	01	11月20日(水)	14:00	～	16:00	小祿南公民館ホール	15	1	14	0
	02	11月27日(水)	14:00	～	16:00		14	0	14	0
	03	12月4日(水)	14:00	～	16:00		12	1	11	0
	04	12月11日(水)	14:00	～	16:00		9	1	8	0
内 容	01	【第1回】「心と体を鍛える！健康ヨガ&筋トレ」								
	02	【第2回】「歌って元気に！ボイストレーニング」								
	03	【第3回】「脳を鍛えよう！脳トレ&記憶力アップ」								
	04	【第4回】「楽しみながら学べる！シニア英会話」								
講 師		神山 美佳（小祿南公民館サークル講師）他3名								
【講座の様子・感想】 ◎自分のための時間を作りたくて参加した。筋肉の動きが体の可動域に直結するのが驚きだった。(60代・女性) ◎呼吸が浅いといつも感じていた。呼吸は健康になるための秘訣だと気づいた。(60代・女性) ◎年齢別：60代が8人、70代が6人、80代が1人でした。 ◎アンケート結果（満足度）85.4%										
【成果】 ◎今回、初めて公民館講座に参加した8人の満足度が、87%と非常に高く評価された。また、サークル講師を招聘したことで、活動の紹介や体験、参加を促進する機会を提供できた。 ◎今回のシニアチャレンジ講座に参加した受講生のうち2名が、講座終了後に小祿南公民館のサークル活動に参加した。受講生が地域の活動に関心を持ち、今後の継続的な公民館活動への参加が期待される。										



4 青少年対象事業

〔1〕少年教室

講座名 タイトル		夏休み宿泊学習（星空観察・野外炊飯・玉城青少年の家探索）								
事業概要		夏休み期間中の自主学習として、青少年が、星空観察や玉城自然の家探検等の自然体験を通して、生態系や環境保護の重要性を体験し、また野外炊飯や宿泊体験等の集団生活を通して、相互理解や協調性を体験し豊かな人間性を育む機会を提供する。								
現状・課題		◎自然環境への関心が低い人は、自然の重要性や必要性を理解しない傾向がある。 ◎コミュニケーション能力が低い人は、自己表現が苦手で、他人の意見や感情を理解するのが難しいことが多い。 ◎協調性がない人は、集団行動が苦手で、自己中心的な行動をとることが多い。								
事業目的 めざす姿		◎星空観察や玉城青少年の家探索等の自然体験を通して、生態系や環境保護の重要性を体験し学ぶこと。 ◎野外炊飯や宿泊体験等の集団生活を通して、相互理解や協調性を体験し学ぶこと。 ◎チーム対抗のニュースポーツを通して、チームワークや円滑なコミュニケーション、協力の重要性、成功の喜びを体験し学ぶこと。								
対 象		那覇市在住・在学の4年生から6年生。 ※現地集合・現地解散の為、保護者の送迎が可能な方								
募集人数等		定員 18人 申込 31人 参加延べ 18人 【申込率172%・参加率100%】								
日時 場所	回	期日	開始	～	終了	実施(集合)場所	参加人数	男性	女性	オンライン
	01	8月10日(土)	13:00	～	0:00	県立玉城青少年の家 (南城市玉城字玉城420)	18	9	9	0
	02	8月11日(日)	0:00	～	13:00					
内 容	01 02	野外炊飯と火起こし体験 星空観察（ペルセウス座流星群）と天体望遠鏡 体験 玉城青少年の家 散策 ニュースポーツ体験とグループ対抗戦 宿泊体験								
講 師		安里 修（日本ボーイスカウト・沖縄県連盟那覇第1団） ほか6人								
【講座の様子・感想】 ◎仲間と協力するとうまくいくという事が分かった。もっと多くの人と、話したり学んだりしてみたい。 ◎星空観察で、望遠鏡で星を観察し、夏の大三角形などを学んだ。 ◎学年別：4年生8人、5年生5人、6年生5人 ◎アンケート結果（満足度）100%										
【成果】 ◎玉城青少年の家の屋上に天体望遠鏡を設置し、星空観察を体験した。受講生は、月のクレーターや土星のリング、遠くの星団など見ることができた。また、専門家による解説を通して、天文学の基本知識や宇宙の広大さについて学んだ。この経験を通して、自然に対する関心を深め、科学への興味を持つようになったと期待される。 ◎野外炊飯や宿泊体験などの集団生活を通して、受講生は貴重な経験を積むことができた。また、共同で食事を準備する際、リーダーの指示に従いながら、自分の役割と責任を理解し、適切に行動することを学んだ。この経験を通して、チームワークの重要性を実感し、共同作業を通してコミュニケーション能力の向上が期待される。 ◎チーム対抗のニュースポーツを体験した。この経験を通して、チームワークや円滑なコミュニケーションの重要性、協力と努力の大切さを学んだことが期待される。										





4 青少年対象事業

〔2〕青年講座

講座名 タイトル		Discoダンス&コンディショニングでリフレッシュ！								
事業概要		市民がスポーツ・レクリエーションを身近に楽しみ、健康長寿おきなわの復活に繋げるように70年代～90年代の洋楽や歌謡曲に合わせ楽しく誰でも簡単に踊れる「有酸素運動」と筋肉を緩め整える「セルフコンディショニング」を学び、働き盛り世代（青年期）のストレスを軽減しリフレッシュすることで身体の健康のみならず心の健康に役立つことを体感する機会を提供する。								
現状・課題		・沖縄県では約8割の県民が運動不足を実感しており、半数が実践できていない現状がある。 ・同時に健康増進や健康維持に係る運動を行っている市民の割合も少ない。 ・那覇市スポーツ推進計画の中で働き世代（20代～40代）の週1回以上スポーツをした人の割合が30%以下で同世代のスポーツ実施率に課題がある。								
事業目的 めざす姿		・筋肉の動きを回復させ体調改善や運動機能向上に役立つ「セルフコンディショニング」を学び自己の健康管理を意識する。 ・「セルフコンディショニング」と「ダンス運動」を経験することで日常のストレスや疲弊をリフレッシュし、心身の状態を整えバランスの取れた健康生活の維持のため継続して運動を行う人が増える。								
対 象		那覇市在住・在勤・在学で医師から運動制限を受けていない人								
募集人数等		定員 20人 申込 40人 参加延べ 58人 【申込率200%・参加率145%】								
日時 場所	回	期日	開始	～	終了	実施(集合)場所	参加人数	男性	女性	オンライン
	01	11月17日(日)	10:00	～	12:00	小祿南公民館ホール	35	3	32	0
	02	11月24日(日)	10:00	～	11:30		23	2	21	0
内容	01	【講座】 コンディショニングの説明（オリンピックアスリート実践法） 【実践】 ヨガマットを使用したストレッチと呼吸法（ウォーミングアップ） 【実践】 70～90年代洋楽と歌謡曲に合わせたDiscoダンス 【実践】 ヨガマットを使用したストレッチと呼吸法（クールダウン）								
講 師	三好 雅美（JWI DISCO WORLDインストラクター）									
【講座の様子・感想】 ・今迄になかったダンス講座でとても楽しく、両親の介護の合間にリフレッシュできて本当に最高でした。サークルへの移行を希望します。 ・ミラーボールや照明、クールダウンの雰囲気づくりに感動しました。コンディショニングで体の正しいあり方や筋肉のことが学べてとても参考になりました。 ※アンケート結果（満足度）96%										
【成果】 ・「音楽に合わせて体を動かすことで身体的な爽快感や心地良さ、また精神的な楽しさやストレス解消に効果があった」との意見が多くを占めた。 ・「健康について自己管理やセルフコンディショニングについて意識が変わった」「運動を継続したい」という意見が多く、自己管理についての意識変容が見受けられた。 ・上記のことから「セルフコンディショニングで健康管理を意識する」「自分に合った運動を楽しく継続して行う人が増える」という本講座の事業目的や目指す姿に近づけた。										





4 青少年対象事業

〔3〕親子ふれあい教室

講座名 タイトル		親子で体験！「夏休みSDGsわくわく教室♪」								
事業概要		SDGsとは2030年を達成期限として掲げられている「持続可能な開発目標」。貧困を終わらせ、地球環境を守りすべての人々が平和と豊かさを享受できる世界の実現を目的としている。親子でクイズや物づくり、実験などを通して環境について学び、また空手を通して沖縄の歴史や伝統文化に触れ、親子でSDGsを学ぶことで未来を担う子供たちが持続可能な社会を創り出すために必要な知識や能力を身に付けられるような、SDGsの未来について創造するきっかけを提供する。								
現状・課題		各家庭における日常生活の中でのSDGsの理解や取り組み、意識構築に差があり、SDGsは個人には縁遠いもので具体的に自分が行動を起こすという認識に個人差がある。SDGsの課題には子供の貧困や食品ロス等が含まれ、小学校の学校給食における年間一人当たりの残廃棄量は7.1キロになる。「ご飯は残さずに食べる」等、小学生が身近なこととして日常生活の中で課題解決を意識することが必要である。								
事業目的 めざす姿		SDGsが未来の環境や生活を守るために必要な目標であることを理解する。 SDGsについて日常的に親子で話し合う機会を持ち「ご飯を残さない・水を出しっぱなしにしない・電気を消す・ごみやペットボトルの仕分けをする・洋服やおもちゃはリサイクルする」等の生活の中でSDGsが実践できるように、一人ひとりの小さな積み重ねがSDGsの達成に繋がることを理解する。								
対 象		那覇市在住・在勤・在学小学生の親子								
募集人数等		定員 96人 申込 122人 参加延べ 80人 【申込率127%・参加率83%】								
日時 場所	回	期日	開始	～	終了	実施(集合)場所	参加人数	男性	女性	オンライン
	01	7月21日(日)	10:00	～	12:00	那覇市保健所	24	4	20	0
	02	7月28日(日)	10:00	～	12:00	小禄南公民館ホール	14	3	11	0
	03	8月3日(土)	10:00	～	12:00	小禄南公民館視聴覚室	22	5	17	0
	04	8月4日(日)	10:00	～	12:00	小禄南公民館ホール	20	6	14	0
内容	01	SDGsをゲームを通し理解する【実践】SDGsボードゲームと不要布でブローチ作り								
	02	体験や物語を通し沖縄発祥の空手を学ぶ【実践】空手(普及形1)の体験								
	03	ダムの水が水道水になるまでを学ぶ【実践】クイズと水作り実験								
	04	沖縄固有や天然記念物の昆虫を学ぶ【実践】昆虫切り絵								
講 師		新垣忍 (SDGsコーディネーター) 他4名								
【講座の様子・感想】 《保護者アンケート》 ・資源カードを使ってアイテムを作りポイントを競うゲームを通してSDGsが楽しく理解できた。捨てる布がブローチに変わる物作りのアップサイクルを体験し子供が「SDGs=良いこと」という具体的な感覚につながったようだ。 ・講師の言葉選びも丁寧でクイズや実験が楽しくわくわくした。 ※アンケート結果(満足度)100%										
【成果】 ・夏休みのチャレンジとして「SDGs振り返りノート」を作成し夏休み期間中の自分にできるSDGs(電気を消す、水を出しっぱなしにしない、ご飯を残さず食べる等)を課題として取り組む意識づけができた。 ・那覇西高校、金城中学校が講座運営に係る学習支援ボランティアとして参加し、クイズ作成やアイスブレイクの雰囲気作り、実験スケジュールを組む過程で「ボランティアの形がいろいろあることが分かった」「自分にできるボランティアがあることを知った」とボランティア側の意識変容が感じられた。										



5 家庭教育事業

〔1〕乳幼児学級

講座名 タイトル		ゆらゆらゆったり～わらべうた遊び～（全3回）								
事業概要		0歳～2歳未満の親子を対象に、保護者の育児中の不調や子どもの発育の不安について共有し「わらべうた」を中心とするふれあい遊びの中からスキンシップの大切さを学び、育児期の親子の心身のバランスを整えると同時に、親子の絆を深め保護者がいきいきと子育てができる社会の実現に寄与する事を目的とする。								
現状・課題		・ 保護者が子育ての悩みを相談できず孤立してしまう「孤育て」育児で不安を抱えている現状があり、親同士や地域の人との情報交換、他者と関わる機会を提供する必要がある。 ・ 情報収集や子育て仲間との交流が乏しく不安を抱えている現状に鑑み、母親に子育ての負担が偏らないよう父親、祖父母の育児参加を促す必要がある。								
事業目的 めざす姿		保護者の育児中の不調や子どもの発育の不安を共有できる育児の仲間づくりや情報交換の場を提供し、いきいきと子育てができる社会環境を構築する。								
対 象		那覇市在住・在勤の0歳～2歳未満の親子								
募集人数等		定員 20人 申込 16人 参加延べ 37人 【申込率80%・参加率62%】								
日時 場所	回	期日	開始	～	終了	実施(集合)場所	参加人数	男性	女性	オンライン
	01	12月10日(火)	10:00	～	12:00	小祿南公民館和室	16	7	9	0
	02	12月12日(木)	10:00	～	12:00		10	3	7	0
	03	12月13日(金)	10:00	～	12:00		11	4	7	0
内容	01 02 03	①島々に歌い継がれてきた「わらべうた」や「子守うた」「お手玉」を中心に繰り返し繰り返し親子で楽しく遊ぶことにより親子のアタッチメント（愛着形成）を支え、ゆったりとリラックスした子育て環境を体験する。 ②育児中の仲間との交流を通し、親子がつながり合い育ち合う環境を体験する。								
講 師		北村浩子、安里真理恵（特定非営利活動法人うていーらみや）								
【講座の様子・感想】 ・ 子どもの表情・動きをみて遊ばせてもらい、講師のリアルな子育てエピソードやエビデンスを知り子育ての興味が高まった。 ・ 「わらべうた」が子どもの心と体の成長を助けると初めて知り、他のママと楽しく交流でき又同じ講座に参加したいと思いました。 ※アンケート結果（満足度）96%										
【成果】 ・ 地域の自然と文化の中で歌い継がれてきた「わらべうた」「子守うた」「手遊びうた」を3回の期間を連続して体験することで、親の気づきや子の変化が顕著に分かり参加者同士の交流も深まった。 ・ 「子ども育ちと大人の役割」「遊びの発達と脳の関係」についての座学も、終始リラックスした和やかな雰囲気講師の失敗談に笑い声が絶えず活発な意見が交わされた。 ・ 地域保健課（母子保健推進員）と連携し、今後も子育てに難を抱えている地域の保護者への情報提供を行っていきたい。 ・ 定量的データ・定性的なフィードバックの両方から講座が子育てに関する学びの充実に貢献したと考える。										



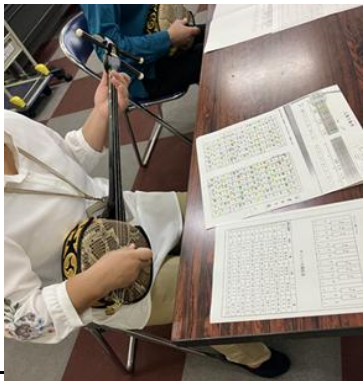




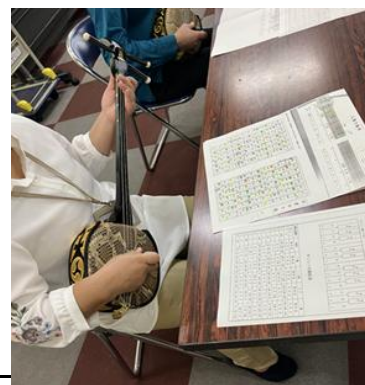
6 その他の事業

〔1〕地域連携事業

講座名 タイトル		「かぎやで風」を弾こう♪ 三線講座（全2回）初心者向け							
事業概要		本講座は、三線の初級者に、基礎的な技術から歴史的背景まで、学ぶ場を提供する。同時に、琉球文化への理解を深めるための機会を提供する。また、公民館活動をしている人を講師に招き、サークル活動の紹介と参加を促すための機会を提供する。							
現状・課題		◎沖縄県によると県民の4割が「伝統芸能（組踊、三線音楽、琉球舞踊など）」を誇りに思っている。（引用）「沖縄文化プログラム調査事業」2016年 ◎文化芸術団体の課題として、活動費の工面、加入者の減少、活動内容のレベル向上・後継者育成をあげた。 ◎小禄南公民館の課題として、サークル数の減少、利用者の減少。							
事業目的 めざす姿		「地域コミュニティの中で、三線を通じた伝統文化の伝承」を目的とする。 ◎三線を通じて琉球文化を学び、地域コミュニティとの一体感を育む場を提供。 ◎公民館の三線サークル活動への参加を促進する。							
対 象		那覇市在住・在勤・在学の人							
募集人数等		定員 8人 申込 30人 参加延べ 12人 【申込率375%・参加率75%】							
日時 場所	回	期日	開始 ～ 終了		実施(集合)場所 小禄南公民館 視聴覚室	参加人数	男性	女性	オンライン
	01	11月18日(月)	14:00 ～ 16:00			6	2	4	0
	02	11月25日(月)	14:00 ～ 16:00			6	0	6	0
内容	01	【第1回】「かぎやで風と三線」①							
	02	【第2回】「かぎやで風と三線」②							
講 師		上江田 誠仁（小禄南公民館サークル講師）							
【講座の様子・感想】 ◎亡き夫の形見である三線を講座に持参した70代の女性がいました。「しばらく触ってなかったけど、かぎやで風を弾きたくて参加しました。」と話していました。そして大切そうに三線を奏でていました。 ◎初めて三線を習いましたが、聞くのとやるのとでは、全然違いました。これから練習を重ねて頑張ります。(50代・女性) ◎ホコリをかぶっていた三線ですが、もっと触れたいと思うキッカケになりました。(40代・女性) ◎年齢別：40代が3人、50代が4人、70代が1人でした。 ◎アンケート結果（満足度）100%									
【成果】 ◎今回の三線講座の受講生が、その後、小禄南公民館の三線サークルに2人参加するようになった。三線講座を通して、受講生の行動様式に変容が生まれ、新たなコミュニティとのつながりが生まれた。今後も、持続的に公民館活動に参加することが期待でき、地域コミュニティ全体の活性化にも貢献することが期待される。 ◎多くの参加者から「曲は難しかったが、挑戦したい気持ちが強くなりました。練習を重ねることで少しずつ上達するのが楽しい。」という声が寄せられた。三線を通じて伝統文化の持続可能な伝承が実現することが期待される。									







6 その他の事業

〔1〕地域連携事業

講座名 タイトル		語やびらLet's防災！								
事業概要		自分の住んでいる地域の昔の地形や地域特性を知り、災害時に起こりうる様々な想定をする。 外出中に家族が帰宅困難になったり、離れ離れになった場合の集合場所などをあらかじめ家族間で確認し合う。 家族、地域住民でコミュニケーションを取り、日々進化している防災知識を身につけアップデートする。								
現状・課題		沖縄県における災害の課題には、台風や低気圧による大雨、暴風、高波、高潮などによる風水害や土砂災害、南海トラフ地震による津波などがある。また観光事業者への被害や観光の復興も課題である。								
事業目的 めざす姿		災害時に少しでも落ち着いた行動がとれるよう、防災知識を家族みんなで身につけ、アップデートする。そのためには普段からのコミュニケーションも不可欠である。 災害時は、自助（自分のことは自分で行う）、共助（地域住民同士が支え合う）が重要であるため、一人ひとりが正しい知識を持ち、普段から備えれば災害が発生した際に適切な方法で身を守ることができる。								
対 象		那覇市在住・在勤・在学の人								
募集人数等		定員 30人 申込 28人 参加延べ 23人 【申込率93%・参加率77%】								
日時 場所	回	期日	開始	～	終了	実施(集合)場所	参加人数	男性	女性	オンライン
	01	2月1日(土)	10:00	～	12:00	小禄南公民館ホール	23	8	15	0
内容	01	住んでいる地域の昔の地形や地域特性を知る。 災害のいろいろな想定をはなしてみる。 地域でできる共助とは。家族で防災の基本をアップデートする。								
講 師		源河北斗（那覇市防災危機管理課 主幹）								
【講座の様子・感想】										
・防災リュックや災害時の心構えなど参考になりました。小学校や学童でもこのような講座を実施してほしい。 ・今まで他人事と考えていたが、身近にあるものだと実感した。住民一人ひとりの「自助」がなければならぬことがわかり、しっかり対応しようと思えた。 ・アンケート結果（満足度）95.6%										
【成果】 「家族」単位で参加してもらえたらと思い、チラシ作成の際にはタイトルや表記を工夫するなどし、近隣の小学校や学童等にも配布を行った。結果、2組の親子と学童からの参加があった。 「備えの準備を実践しなければと思いました。」「早速防災バック作りの参考にします」など、講座で学んだことを早速アウトプットしようとする意識がみられた。										



6 その他の事業

〔2〕うるく地域づくり連絡協議会

地域学習会「トートーメー継承 ～過去・現在・未来～」	
趣 旨	小禄地域の市民を対象に、専門家によるわかりやすい解説でトートーメーの基礎的な知識をはじめ現状や今後の課題について学ぶ機会を提供する
日 時	令和6年5月18日（土） 14:00～16:00
場 所	小禄南公民館ホール
対 象	小禄地域の市民等
受 講 料	無料
受 講 者	35人
講 師	波平 エリ子（沖縄国際大学大学院非常勤講師）



6 その他の事業

〔2〕うるく地域づくり連絡協議会

親睦グラウンドゴルフ	
趣 旨	会員の親睦と交流を図り活性化を目的とする
日 時	令和6年7月21日（日） 9:30～11:30
場 所	具志自治会グラウンド
対 象	小禄地区に在住する市民
参 加 費	500円（保険料ほか）
参 加 者	46人



6 その他の事業

〔2〕うるく地域づくり連絡協議会

第29回小禄地区市民大運動会	
趣 旨	小禄地区の自治会を中心に、小禄地域に在住する幼児から成人にいたる多くの市民が参加することによって交流を深め、以って地域社会の活性化をめざす。
日 時	令和6年11月3日（日） 8:30～16:30
場 所	金城中学校グラウンド
対 象	小禄地区市民・団体
参 加 者	約5,000人



6 その他の事業

〔2〕うるく地域づくり連絡協議会

第29回うるく村あしび	
趣 旨	小禄地区を中心に活動する機関や団体が、日頃の活動を紹介し地域の郷土文化を見直すことで地域連携を図るとともに、よりよい地域づくりに役立てることを目的とする。
日 時	令和7年3月1日（土） 13:00～16:00
場 所	ともかぜ振興会館ホール
参加者・観覧者	約400人

第29回うるく村あしび プログラム			
日時：令和7年3月1日（土） 場所：ともかぜ振興会館			
	演目	出演団体名	曲目等
1	諸注意	司会	
2	開会の挨拶	うるく地域づくり連絡協議会 会長 上原 博	
3	琉舞	小禄老人福祉センター 琉舞（宮城流）講座	かざやで風
4	ハワイアンフラ タヒチアダンス	RURUANUA Hula & OriTahiti Studio	アロハウィーク フラ / ワヒネ タヒチ
5	リコーダー合奏	さつき小学校リコーダークラブ & OB・OG	ハンガリー舞曲Ⅰ、Ⅱ、Ⅶ、Ⅷ / イッツ ア スモールワールド
6	運動	さつきこども園 ①	
7	ストリートダンス	スタジオ Bambino	APT ほか4曲
8	琉舞	宮城琉舞サークル	谷茶前
9	空手・エイサー	さつきこども園 ②	ダイナミック琉球 ほか
10	エイサー・体操	第2かぐらこども園	ミルクムナリ 他2曲
11	激励のことば	那覇市教育委員会 教育長 宮里 寿子	
12	三線	はなぞの三線クラブ	きらきら星 / ていんさぐぬ花 / あかたすんどうんち オジー自慢のオリオンビール
13	大人のストリートダンス	すっぴんクラブ with こどもたち	Dance！（ダンス！） / どうにもとまらない
14	エイサー	若鷹太鼓	トゥマイ浜 / ゆいゆい / 瀬水クイチャー / ワイルドシーサー
15	わらびうた	ハゲラ&アカンミ キッズクラブ	あわていーはーていサントぬたんめーぐわー / 二十四日ぬ あっちゃー正月どー / 良い正月 etc
16	ヒップホップダンス	DANCE TAKARA	Feel Me Flow / Le Freak / ダンシングヒーロー
17	閉会の挨拶	うるく地域づくり連絡協議会 副会長 上原 勉	



